

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年01月05日

計画の名称	習志野市における公共下水道整備												
計画の期間	令和03年度 ~ 令和07年度 (5年間)								重点配分対象の該当				
交付対象	習志野市												
計画の目標	公共下水道の整備の推進することで、都市の健全な発達に寄与し公共用水域の水質保全や生活環境の改善を図る。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	3,485	A	3,485	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R3	R5	R7
1	下水道普及率を95%から100%に上昇させる。			
	下水道普及率 計画区域内における 下水道処理人口(人) / 計画区域区内人口(人)	95%	97%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	習志野市	直接	習志野市	管渠(合流)	新設	鷺沼放流幹線整備	L=1.4km シールド工法 800	1	習志野市					635	-	
	汚水処理施設整備計画(アクションプラン)																		
	A07-002	下水道	一般	習志野市	直接	習志野市	管渠(合流)	新設	津田沼処理区域内未普及 対策(合流)	L=2.8km 実施設計・管渠新 設(開削・推進)		習志野市					1,000	-	
	汚水処理施設整備計画(アクションプラン)																		
	A07-003	下水道	一般	習志野市	直接	習志野市	管渠(汚水)	新設	津田沼処理区域内未普及 対策(汚水)	L=0.9km 実施設計・管渠新 設(開削・推進)		習志野市					650	-	
	汚水処理施設整備計画(アクションプラン)																		
	A07-004	下水道	一般	習志野市	直接	習志野市	管渠(汚水)	新設	印旛処理区域内未普及対 策(汚水)	L=5.6km 実施設計・管渠新 設(開削・推進)		習志野市					1,200	-	
	汚水処理施設整備計画(アクションプラン)																		
												小計					3,485		
												合計					3,485		

事前評価チェックシート

計画の名称： 習志野市における公共下水道整備

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 (上位計画等との整合性) 全県域汚水処理適正構想、流域別下水道総合整備計画、都市計画マスタープラン等に適合している。	○
I. 目標の妥当性 (地域の課題への対応) 地域課題(生活環境の改善、公共用水域の水質保全、水害の防止等)を踏まえた目標設定となっている。	○
I. 目標の妥当性 (地域の課題への対応) 広域的観点から、整備地区の位置づけが行われている。	○
II. 計画の効果・効率性 (目標と事業内容の整合性等) 整備計画の目標と定量的指標(数値目標)の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 (目標と事業内容の整合性等) 指標・数値目標が明瞭なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 (目標と事業内容の整合性等) 目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 (事業の効果) 効率的な事業推進が図られる事業構成となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 (事業の効果) 事業連携等による相乗効果・波及効果が見込まれるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 (円滑な事業執行の環境) 計画について住民等との合意形成ができています。	○
III. 計画の実現可能性 (円滑な事業執行の環境) 計画の具体性等の事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 (地元の機運) 住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 (地元の機運) 継続的な事業の展開が見込める。	○

